

2023年7月4日

生成 AI「ChatGPT」の活用を開始

日立造船株式会社は、このほど、DXの取り組みを促進するため、OpenAI Inc.（米カリフォルニア州）の生成 AI「ChatGPT」の活用を開始しました。

活用開始にあたっては、当社の DX 推進パートナーである PwC コンサルティング合同会社（東京都千代田区、大竹 伸明代表執行役 CEO）による ChatGPT セミナーを開催し、社員 800 名以上が ChatGPT の基本的な使い方、活用事例、リスク事例について学んだほか、情報セキュリティの観点からは、日本マイクロソフト株式会社のクラウドサービス「Azure OpenAI Service^{※1}」を全社員に対し導入し、安全かつ信頼性の高い環境で使用しています。

当社は、「事業 DX」「企業 DX」「DX 基盤」を 3 本柱とした DX 戦略を 2021 年に策定し、先端技術（IoT や AI）を活用した製品・サービスの付加価値向上などに取り組んでいます。生成 AI は、資料作成やアイデア検討などにおいて有効なツールであり、提案力強化や業務効率化などに資するものとして、ICT 推進本部を中心に様々な場面での活用を検討しています。

同本部では RPA との連携の検証を開始したほか、技術研究所においても Azure OpenAI Service の API^{※2}を利用して、社内ナレッジの有効活用を目指したシステム開発に取り組んでいます。

また、ChatGPT コミュニティを開設し、活用方法に関する意見交換を行っているほか、リーダー層を対象に ChatGPT 活用ワークショップも開催し、社内への展開を図っています。

当社は、生成 AI だけでなくデジタル技術の導入を推進し、2023 年度からの中期経営計画「Forward 25」の各目標達成に向けて積極的に取り組んでいきます。

なお、本プレスリリースの初稿の作成や原稿の校正には ChatGPT を活用しました。

※ 1 Azure OpenAI Service : Microsoft 社が提供するクラウドサービス。インターネットの閉域接続が可能で、よりセキュアな環境で ChatGPT が利用可能。

※ 2 API : Application Programming Interface の略で、ソフトウェアやプログラムなどの間をつなぐインターフェース。

(終)